

分野 〔テーマ〕	現状・課題	分野別の目指す 将来像	目指す将来像を実現するために必要な取り組み		
			既存の取組み	話し合いの場に出された主な意見	
交流 つながり あいさつ 自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・校門前でのあいさつで、顔見知り ・知らない人にあいさつをしていない ・修学旅行生にあいさつをしたい。おもてなしをしたい。 ・地域の方と一緒に清掃で交流している ・多世代交流の場が少ない ・校区祭りの実行委員に若者の参加が少ない ・地域の行事に参加者が少ない ・自治会加入が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・つながれ、祭り魂 ～多世代交流新たなかたちを～ ・あいさつで地域交流を深めるまち 校区まつりのさらなる活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区まつり ・精霊流し ・ラジオ体操 ・ラジオ体操講習会 ・餅つき大会 ・門松作り ・嘉代子桜を用いた平和伝承 ・夏祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のみなさんでのあいさつ運動 ・子どもたちにあいさつをしてもらえると嬉しい ・小、中学校の前をあいさつロードへ ・あいさつ強化週間 ・あいさつゾーン ・横断幕の設置 ・清掃やまつりを通して、多世代交流 ・世代間の交流の場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流の場をつくる ・実行委員へ若者を入れる ・全員参加型の校区まつり ・話し合いの場をつくり地域を知る ・地域行事の見直し ・地域の成人式(18才) ・自治会の魅力を伝える ・イベント等のSNSでの発信
歴史・伝統 歴史 郷土芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん史跡、まつりがある (長崎街道、シーボルト記念館、シーボルト宅跡などの史跡、元祖長崎、八幡神社鳥居、若宮神社、上野彦馬写真館跡、風頭石切り場、本河内ダム、神社まつり、くんち、みこし) ・伝統や歴史が地域の人にまだまだ知られていない ・歴史が知られていない ・後継者不足でくんち危機 ・価値観の違う人、無関心層がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊良林のぼりくんだり(まちあるき) ・節分祭 ・鬼火焚き 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域発のまち歩きイベント ・素材の磨き上げ ・魅力の発信 ・長崎街道の顕在化 ・歴史ある橋の橋磨き ・衣食住の文化を継承するイベント ・地域の伝統を子供たちに体験させる ・伝統の継承をマニュアル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち単位でやっていた伝統を校区全体で支える ・観光客へのおもてなし→誘導を上手に案内板を ・地域の学校を巻き込む
環境 生活環境 斜面地 自然・ホタル 鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> ・新道ができて、旧道の方でスピードを出す車が増えた ・横断歩道はあっても信号がなく、事故が多い ・交通の便が悪いのに交通量が多い ・長崎バス、県営バスの通過時間が重なる(時間をずらすなど検討してほしい) ・バス路線の維持は必要だが、バス料金は値上げしないでほしい ・地域によっては、買い物・通院が大変 ・ホタルが減ってきている ・イノシシ・カラスが増えてきている ・分別ルール、ごみ出し日を守らない人いる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル飛ぶみんなが戻ってきたくなる暮らしやすい伊良林 ・くらしやすいゴミ一つない伊良林 	<ul style="list-style-type: none"> ・おゆずり会(乳幼児向け) ・市民大清掃 ・桜まつり ・もみじまつり ・町内清掃 ・アダプトプログラム ・環境美化キャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の環境(速度標識や横断歩道について)警察・行政に相談する ・買い物支援や通院支援をしている団体やお店を活用したり、PRしたりする ・ホタルが飛べる環境づくりをしたり、斜面地からの美しい景色をPRして、若い人に住んでもらう ・ネットや柵など鳥獣対策 ・狩猟免許を所持している方にワナを仕掛けて捕獲してもらう ・処分費用には補助があるが、免許取得に対する補助をしてほしい ・もう少し厳しい条例をつくっては ・アダプトプログラムへの周知、参加者を増やすPR ・ごみのルールを守らない人のごみの処分は、市に依頼 	
福祉 子ども 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間、地域の交流不足 ・高齢者が多い ・高齢者が集まれる場所がない ・外出するための足の確保が必要 ・老人会の役員や活動等の担い手不足 ・コロナ禍で活動ができない ・人口減少(子ども少ない) ・子どもが少ない ・子ども会がない、成り立たない ・遊び場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナに負けるな！ みんなで交流・参加できるイベントを！！ ・子どもから大人まで元気なあいさつがきこえるまち！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン ・敬老会 ・夏休み・冬休み子ども向け講座 ・おひざで絵本 ・ベビーマッサージ教室 ・桜馬場こどもフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホなどを使った情報発信 ・スマホの使い方を子どもが先生になって高齢者に教える ・高齢者の交流の場をつくる ・地区全体でまとまってイベントをする ・子供が喜んで参加できるイベント等をする ・もちつきなどのイベントの復活 ・伊良林地区の魅力をアピールする ・空き家を整備して若い世代が住めるように→遊び場所に活用 	
防災・防犯 防災 防犯 安全安心 空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・矢の平・本河内・鳴滝等、斜面地で避難が困難な高齢者への支援が課題 ・大規模災害が発生すると、国道が浸水し車での避難が困難 ・災害に対する”慣れ”が危険 ・朝、夕の大渋滞(災害時も避難を阻害する要因となる) ・地域住民が集まるきっかけづくりが必要 ・夜道を歩く子どもに大人が声をかけづらい(警戒される) ・子どもの視点から考えて、暗い、死角になる場所がある ・空き家の放置(所有者と連絡がつかない) ・空き家が多く、火事や空き巣が心配 ・空き家が増えてきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろのつながり、むこう三軒両隣の声かけが活発なまち ・いざという時のため、一緒に楽しくまちを守る！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・AED講習会 ・避難所開設 ・夜警 ・万引き防止パトロール ・防犯パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども×地域×学校での取り組み ・一緒にまちあるきをしてハザードマップづくりを行い、情報共有を行う ・まちあるき等の防災イベントは定期的に行い、実際の災害に対応できるようにしておく ・コミュニティ協議会単位、地区単位、家庭単位それぞれで意識を高めるため、自治会単位でも、できる範囲で様々な年代を集めた防災イベントを行う ・避難経路がふさがる前に早めの避難を呼びかける ・避難するのも危険な時は、自宅待機を行う等、自助意識を高める ・台風時、災害が発生する前に立体駐車場に車を移動させ、減災に取り組む ・斜面地の坂道・階段に手すりの設置・白線塗りを行う ・防災マップ・安心カードを活用した避難訓練の計画・実施 ・日常のつながりづくりを行い、共助の力に変える 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練ができる場所の確保 ・防災広場、防災公園の整備を要望する ・地域の子どもが地域の大人の顔を知ってもらえるようにする ・子どもたち、地域で危険個所を一緒に見て回り、共通認識を持つ ・外灯のLED化 ・不動産に依頼して空き家をリノベーションする ・空き家を無償で若い人などに貸す